

令和7年

足立区選挙管理委員会  
第17回定例会会議要録

- 1) 開会年月日 令和7年9月1日(月)
- 2) 会議時間 午前10時00分～午前10時55分
- 3) 場 所 足立区役所南館6階 選挙管理委員会室
- 4) 出席委員
- |      |      |
|------|------|
| 委員 長 | 新井英生 |
| 委員   | 古野香織 |
| 委員   | 芦川武雄 |
- 5) 事務局職員
- |                  |      |
|------------------|------|
| 事務局 長            | 依田保  |
| 管理係 長            | 伊藤寛之 |
| 選挙係 長            | 松田直剛 |
| システム標準化<br>担当係 長 | 高城直人 |
| 選挙係 主査           | 阿部雅弘 |
- 6) 傍聴者 1名

## 7) 会議要録

委員長            それでは、第17回選挙管理委員会定例会を開会します。  
はじめに、議案第46号『在外選挙人名簿の登録について』を議題といたします。事務局より説明を求めます。

事務局長            議案第46号『在外選挙人名簿の登録について』説明。

委員長            この件について、質問はありますか。

全委員            ありません。

委員長            ないようですので、採決いたします。第46号議案について、原案通り認める方の挙手を求めます。

(全員挙手)

委員長            挙手全員であります。よって本議案は原案のとおり可決いたしました。  
続いて、議案第47号『選挙人名簿登録者の抹消および令和7年9月定時登録について』事務局より説明を求めます。

事務局長            議案第47号『選挙人名簿登録者の抹消および令和7年9月定時登録について』説明。

委員長            このことについて、質問はありますか。

全委員            ありません。

委員長            ないようですので、採決いたします。第47号議案について、原案通り認める方の挙手を求めます。

(全員挙手)

委員長            挙手全員であります。よって本議案は原案のとおり可決いたしました。  
続いて、報告第35号『当日投票区の再編等による投票率の推移について』事務局より説明を求めます。

事務局長            報告第35号『当日投票区の再編等による投票率の推移について』説明。

委員長            投票区再編の検討をする際、実務としてはどのような方法が考えられますか。

事務局長 調整が必要な投票区の境を、例えば1街区だけ変えることが考えられます。関係する投票区の町会などにはご意見いただいた上になりますが、1つの投票所の有権者人数、各投票所から自宅までの距離に留意する必要があります。

芦川委員 投票所を増やすには従事者や立会人もその分多く配置することになりますが、実現可能でしょうか。

事務局長 現在77か所の投票所を設置していますが、いくつも増設するのは人員の関係で難しいと考えています。実施できるのは、投票所の境界線を変更することで自宅からの距離を縮めることだと考えています。

委員長 隣の投票区の投票所の方が自宅から近い場合がありますが、そういった意見も汲む必要があると思います。

古野委員 以前、針谷委員から意見があった趣旨は、投票率ではなく「隣の投票区の投票所の方が自宅から近いことに対する意見」だったのででしょうか。

事務局長 ご意見は2つありました。1つは「隣の投票区の投票所の方が自宅から近いのでそこであれば投票に行けますが、自分の投票区の投票所は自宅から遠いので投票に行けない」というご意見が針谷委員に入っているという内容でした。  
もう一つは「投票所を増設した区域でその後、投票率が上がっているのか確認したい」という内容でしたので、今回資料を作成しお示しました。

古野委員 今回、資料を作成していただきましたが、投票所を増設した区域の投票率は上がっていたのでしょうか。

事務局長 投票率は足立区全体の平均を下回り大きな変化はなかったため、増設による効果はなかったのではないかと考えています。

古野委員 投票率が変わらなかったということは、元々投票していた方々が投票所増設により、それぞれの投票所に行っただけという理解で合っていますでしょうか。

事務局長 そのように考えています。

古野委員 今回の報告によって、投票率向上のためにはどのような検討を進めれば良いと考えていますか。

事務局長 足立区は高齢化率が高くなっているため、投票所との距離感は継続して検討すべき内容だと考えています。また、1つの投票所の有権者の人数が1万5千人規模の投票所については、投票所で待ち時間が発生する可能性があるため投票率低下に繋がる可能性があると考えています。

古野委員 人数が多すぎる投票所は分散させる必要があるということと、投票率が低下しないよう投票所を増やす必要があるということでしょうか。

事務局長 適切な距離と人口規模が必要だと考えていますが、投票所を増やすのは人員配置の関係で現実的に難しいと考えています。緊急で実施が必要な衆議院議員選挙では人員配置が整わないことが現実起きていますので、現在の77か所の投票所を、例えばですが80か所には増やせません。

古野委員 人件費が高くなるため難しいということでしょうか。

事務局長 人件費もそうですが区職員の人数が揃いません。一つの投票所に12人～13人従事者が必要になります。

委員長 投票区の再編には全体のバランスが必要だと思います。また、今回資料にある地域は投票率が低い状況にあるので元に戻すことも検討して良いのではないのでしょうか。

事務局長 元に戻した場合、1つの投票所で1万5千人規模になるため当日長い行列ができてしまうと思います。過去実際にその規模の投票所で従事したことがあります。お待ちいただく時間が長く発生しました。減らす場合は1つの投票所の人数が平均になるように調整が必要だと思います。

芦川委員 再編により投票所が遠くなってしまふ地域については町会や広報をとおして丁寧に説明する必要があると思います。

委員長 他に質疑はありますか。  
ないようですので、続いて報告第36号『時間別投票者数について』事務局より説明を求めます。

事務局長 報告第36号『時間別投票者数について』説明。

委員長 このことについて、質問はありますか。

芦川委員 当日投票の時間帯を18時くらいまでにした場合、高齢者の多い立会人の負担軽減が図れます。実際に立会人経験者と話をしましたが従事時間が長すぎると意見がありました。

また、早く投票所が終わることで開票作業が前倒しできるため検討すべきではないでしょうか。期日前投票所を14か所も設置しておりますし、広報や区内放送を通して丁寧に周知すれば混乱も起きないと思います。

事務局長 区長選挙、区議選挙については足立区選挙管理委員会で執行計画を決めることで実現可能です。

芦川委員 投票が早く終われば開票作業も前倒しでき、選挙の結果も早く知ることができるので検討が必要だと思います。他区の状況は把握していますでしょうか。

事務局長 当日投票は把握できていませんが、期日前投票は自治体によって開設期間、開設時間が様々です。東京23区は比較的長い期間、時間で開設しているところが多いですが、民間から会場を借りている場合は短いケースがあります。全国的には期日前投票所を充実させ、当日投票所については短い時間で実施している自治体があります。他の自治体の事例を後日報告いたします。

芦川委員 深夜帯の作業はミスも出やすいですし、やはり18時くらいまでで投票を終わらせて19時くらいから開票を始めれば23時くらいまでで開票作業が終わるのではないのでしょうか。翌日は区役所の通常業務があるので選挙の影響も少なく済むと思います。

立会人などを担う地域の高齢の方々から意見いただいているところですので検討してほしいです。

事務局長 議論が必要だと考えています。関係する情報を集め後日お示しします。私が選挙に従事し始める前のことですが、そのときは土曜に会場設営、日曜18時まで投票、翌月曜に開票でした。平成8年頃から即日開票になったと記憶しています。

委員長 確かに投票日の22時頃には開票結果が出ていたと思います。確認ですが、区長選挙、区議選挙については足立区選挙管理委員会で決められますが、それ以外の選挙は全体のルールに合わせる必要があるという認識で合っていますでしょうか。

事務局長 マスコミ報道でみましたが茨城県は自治体により投票終了時刻が18時、19時、20時とばらつきがありました。足立区が仮に18時に投票を終了したとしても開票は前倒しできません。

また、区長選挙、区議選挙以外の選挙で投票終了時刻を前倒しするには中央選挙管理会や東京都選挙管理委員会の了承が必要になります。

- 古野委員 開票開始時刻は全体に合わせる必要があるということですね。
- 事務局長 おっしゃるとおりです。開票は全体に合わせる必要がありますが、投票終了時刻については執行計画に基づき東京都選挙管理委員会や中央選挙管理会の下承があれば変更できます。この件についてはあらためてご報告します。
- 委員長 投票終了時刻を前倒しすることで投票率低下にならないよう、期日前投票所を増やす、利便性の高い場所に期日前投票所を設けるなど対応が必要だと思います。
- 事務局長 当日18時から20時の間に投票する人数は天候によって大きく変わるため、投票終了時刻を前倒しする場合は混乱が生じないよう十分な周知が必要ですし、期日前投票所の充実が必要だと考えています。
- ただ、7月の参議院議員選挙では期日前投票所14か所中、3か所は2週間近く開設し、残りの箇所は1週間開設しましたが、自宅から長く開設している会場が遠い方からは、最寄りの期日前投票所でも長く開設してほしいと意見をいただきました。
- 投票終了時刻を前倒しするには、期日前投票の投票率が上がり、当日投票の投票率が下がり、十分な周知を行うことなどの条件があると思います。
- 実現すれば区長選挙、区議選挙では開票開始が前倒しできます。
- 委員長 平成7年頃は当日投票が18時まででしたが、今の投票率と比べて投票率は上がったのでしょうか。
- 事務局長 確認しますが、投票率は年々下がってきたように思います。
- 委員長 投票できる時間数が投票率に影響しなかったということですね。
- 古野委員 開票作業が深夜帯に及ぶのは良いことではありませんが、投票率が低い状況にあるため、期日前投票所の期間を長く設ける、思い切った周知・啓発を行うなど、これまで以上の取り組みがないと区民の納得が得られないと思います。
- 事務局長 投票終了時刻を前倒しする件については、次の選挙で実施するかどうかではなく、長期的な課題と認識しています。期日前投票所の投票率が当日投票の投票率と同じくらいになってこないと実現は難しいのではないかと考えています。
- 古野委員 次の区長選挙、区議選挙での実現は考えていないということでしょうか。

- 事務局長 期日前投票所の投票率が当日投票の投票率と同じくらいにならないと実現できないと考えています。期日前投票所を増やせるかどうかの議論も終わっていませんし、古野委員の発言にもありましたが投票率が低い状況にあるため綿密に進めないといけません。
- 選挙係長 先ほど委員長の発言にありました平成7年の18時で投票終了した区長・区議選挙の投票率は43.67%でした。直近の令和5年の投票率は42.79%でした。
- 委員長 投票できる時間を増やしても投票率に影響しなかったということですね。今回調べてもらった数値もそうですが一度整理して示してもらえますか。古野委員の意見も重要ですが、芦川委員のおっしゃるとおり現場が疲弊しているのは問題だと思います。  
人口減少社会でもあるため、投票終了時間を18時に戻す検討は必要だと思います。本件は定例会ではなく懇談会のような形で検討してみたいかがでしょうか。
- 事務局長 資料を作成しご報告いたします。
- 委員長 他に質疑はありますか。  
ないようですので、続いて報告第37号『会議等の日程について』事務局より説明を求めます。
- 管理係長 報告第37号『会議等の日程について』説明。
- 委員長 このことについて、質問はありますか。
- 全委員 ありません。
- 委員長 その他何かございますか。
- 事務局長 9月16日の『明るい選挙ポスターコンクール審査会』について説明。
- 委員長 他に何かございますか。  
ないようでしたら、本日の選挙管理委員会定例会を以上で終了といたします。

終了時刻 午前10時55分